

はじめに

湯沢市でジオパーク活動を推進するために、市内の関係機関・団体・企業など 35 団体で「湯沢市ジオパーク推進協議会」を設立したのが平成 23 年 3 月のことです。

それから、市民に対して「ジオパークって、何？」という初歩的な説明会から協議会の活動がスタートしました。協議会の活動を続けるうちに「ジオパーク活動に取り組むことで、湯沢市の魅力の再発見につながる」といった声や「湯沢市に、こんなにすばらしい資源があったなんて、今まで知らなかった!」といった声を多く聞くようになり、日を追うごとに私たちの活動に協力してくださる人が多くなってきました。そのような皆様の活動が日本ジオパーク委員会に高く評価され、平成 24 年 9 月、ゆざわジオパークは、日本ジオパークに認定されました。

しかし、日本ジオパークの認定はゴールではありません。4 年ごとに再審査がありますし、日本ジオパークの先には「世界ジオパーク」があります。

湯沢市の大地は、すばらしい魅力にあふれていますが、大地は何も語りません。湯沢市の大地が持つ魅力を語ることができるのは、そこに住んでいるみなさんです。住民の生の声こそが、湯沢市を訪れた人の心に染み入り、「湯沢市に来てよかった」という想いにつながっていきます。

しかしながら、まだまだ「ジオパークは難しい」と思っている人が多くいるのも事実です。そこで、このガイドブックを刊行することにいたしました。

これは、湯沢市の大地が持つ魅力をテーマごとに、わかりやすくまとめたものです。このガイドブックを活用して、あなたも「ゆざわジオパークの語り部」になってください。

湯沢市ジオパーク推進協議会
会長 齊藤 光喜



目次 CONTENTS

●はじめに	3
●目次	4
●ゆざわジオパークの概要・マップ	6
●ジオパークって何?	8
●ゆざわジオパークSTORY	10
●ゆざわで見られる大地の歴史	12

第1章 いにしへの火山の恵み15

1.かつてゆざわにあった鉱山16

代表的な鉱山と採掘年16

院内銀山17

松岡鉱山22

白沢鉱山25

来田鉱山26

2.ゆざわの石材27

院内石27

関口石30

3.ゆざわの地熱資源32

ゆざわの地熱スポット32

地熱の分布33

地熱発電33

地熱利用の歴史と未来35

4.ゆざわの代表的な温泉37

小安峡温泉37

秋の宮温泉郷38

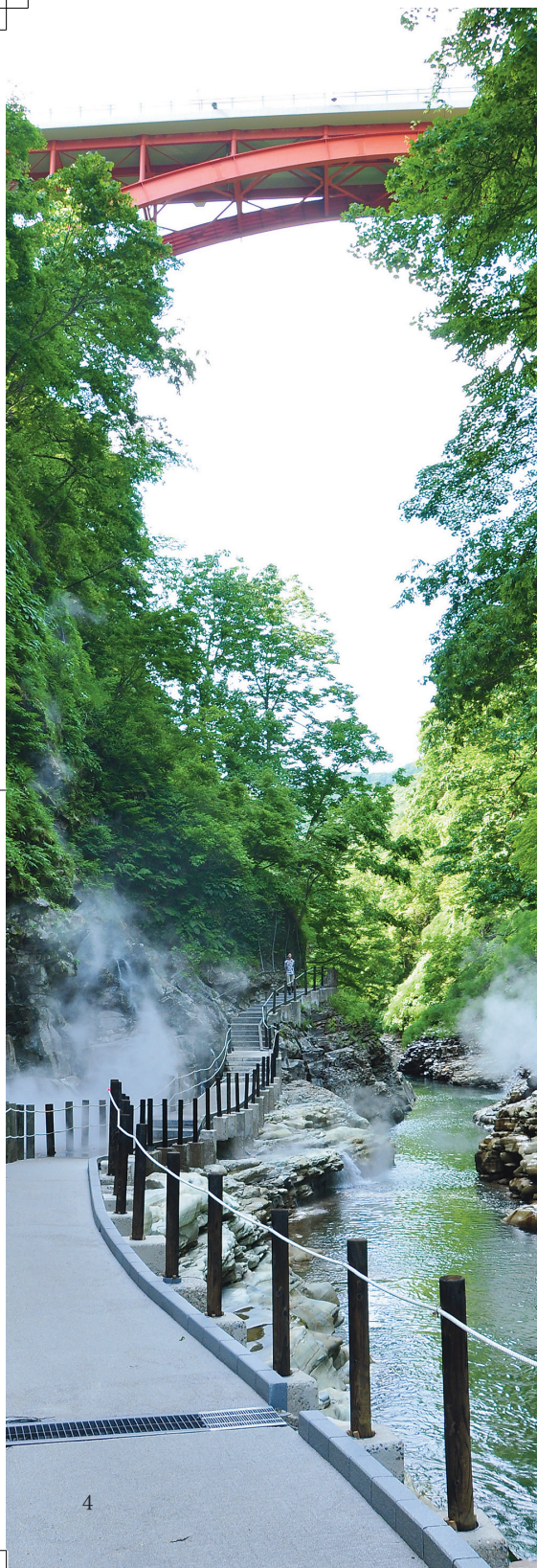
川原の湯っこ40

泥湯温泉40

大湯温泉41

第2章 あつき雪43

1.ゆざわの気候44



日本の冬の天気	44	交通機関と温泉	85
ゆざわの四季	45	交通機関と温泉場の経済	85
2.豊富な湧水	47	6.雪国の生活	86
代表的な湧水	49	雪国ならではの輸送法	86
ジオが生んだ産業	52	雪と文化	87
3.清流に育まれた大自然	57	犬っこまつり	88
源流を訪ねる	57	7.ゆざわの自然と信仰	90
過去と現在を結ぶ湖沼群	63	山の神と田の神	90
4.水と共に暮らす	69	東鳥海山と信仰	91
ダムと水力発電所	69	8.稲作と文化	92
自然への挑戦	71	わらを用いた道具	92
“あつき雪”を楽しもう	73	豊作の祈願	92
		9.村境を守る人形	93
		岩崎のカシマサマ	93
		皆瀬のニンギョウサマ	94
		小野のカシマサマ	94
		わら人形と道祖神	95
		10.ゆざわの伝説	96
		温泉と伝説	96
		坂上田村麻呂と伝説	97
		小野小町の伝説	97
		小町まつり	99
		能恵姫伝承	100
		11.郷土を伝える運動	101
		院内採石場跡の整備	101
		押切伸・三途川化石資料室	101
		ジオパーク活動と地域への影響	102
		●ゆざわジオパーク 16のジオサイト	103
		●食と物産のご紹介	120
		●ガイドのご案内	123
		●おわりに	124
		●参考資料	125

第3章 いかして築く歴史と暮らし …75

1.ゆざわの遺跡と当時の暮らし …76

ゆざわの縄文遺跡 …76

稲作のはじまり …77

2.平安から中世のゆざわ …77

平安時代のゆざわと信仰 …77

稲庭城と小野寺氏 …78

小野寺氏と川連漆器 …78

3.佐竹氏の転封と院内銀山 …79

院内銀山の発見と佐竹氏 …79

院内銀山が残したもの …80

4.菅江真澄とゆざわ …81

菅江真澄とゆざわ …81

菅江真澄が描いたゆざわ …82

5.近代と交通機関の発達 …83

戊辰戦争 …83

街道の整備と人力車の登場 …84

奥羽線の開通 …84

自動車交通と除雪 …84

ゆざわジオパークの 概 要

●ジオパークの範囲、位置、地勢

ジオパークの見所である「ジオサイト」が湯沢市の全域に広く点在しているの
で、市全体をゆざわジオパークのエリアにしています。

ゆざわジオパークは、山形・宮城の両県に隣接する秋田県の最南東部にありま
す。直線距離で秋田市まで約70km、盛岡市まで約80km、仙台市まで約95km、山
形市まで約95kmと東北地方のほぼ中央に位置しています。隣接する両県とは、国
道13号、108号及び398号で結ばれており、秋田県の南の
玄関口となっています。面積は790.72km²で、仙台市とほぼ
同じ大きさです。

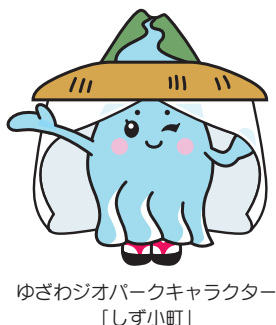
東方の奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれた横手盆地を
貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川、役内川沿いに
豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯
は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵
まれています。

気候は、内陸性で気温の差が大きく、四季折々の自然美
を見せてくれます。

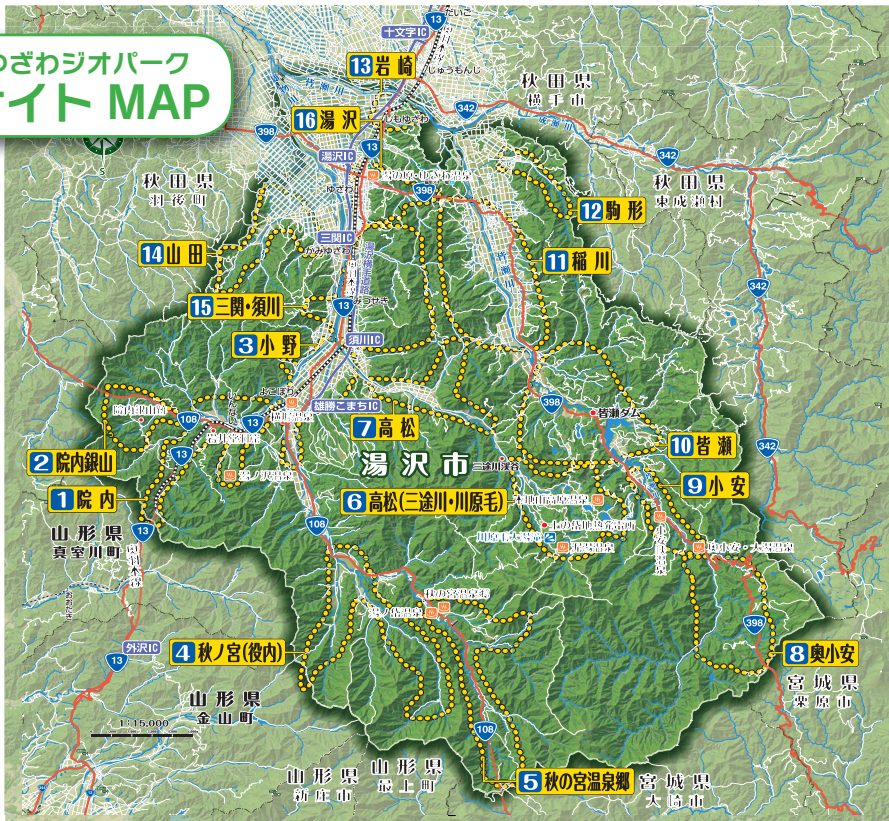


●ロゴマークとキャラクター

ゆざわジオパークをPRするためのロゴマークとキャラクター「しず小町」です。
一定の条件の下であれば、誰でも使用することができます。



ゆざわジオパーク サイト MAP



- | | | |
|----------|-------------|----------------------|
| ジオサイト 1 | 院内 | 院内カルデラと歴史街道 |
| ジオサイト 2 | 院内銀山 | 天保の盛山「院内銀山」 |
| ジオサイト 3 | 小野・横堀 | 小野小町伝説の郷 |
| ジオサイト 4 | 秋ノ宮(役内) | 湯沢最古の地層にふれよう |
| ジオサイト 5 | 秋の宮温泉郷 | 湯めぐり散歩道 |
| ジオサイト 6 | 高松(三途川・川原毛) | 三途川の先には何が… |
| ジオサイト 7 | 高松 | 縄文遺跡とコスモス街道 |
| ジオサイト 8 | 奥小安 | トロツコ道とほや街道をたどる |
| ジオサイト 9 | 小安 | 恵まれた温泉と地熱をいかして… |
| ジオサイト 10 | 皆瀬 | ダムと沼とのコントラスト |
| ジオサイト 11 | 稲川 | 河岸段丘に築かれた歴史ある伝統産業のまち |
| ジオサイト 12 | 駒形 | 鉾山から果樹へ |
| ジオサイト 13 | 岩崎 | かつての独立藩 |
| ジオサイト 14 | 山田 | 美酒を生む酒米のふるさと |
| ジオサイト 15 | 三関・須川 | 扇状地とともに歩む |
| ジオサイト 16 | 湯沢 | 湧水多き佐竹南家 |



ジオパークって、何？

多くの人からよく言われることは「ジオパークって、何？ カタカナだし、どういう意味なのかわからない」ということです。「GeoPark（ジオパーク）」は、地球や大地を意味する「Geo（ジオ）」と公園を意味する「Park（パーク）」を合わせた造語です。2004年に国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の支援により、世界ジオパークネットワークが発足しました。ジオパークの活動はヨーロッパで始まったこともあり、「GeoPark（ジオパーク）」という英語表記が一般的に用いられるようになりました。

では、ジオパークって、一体何をするとところなののでしょうか？
日本ジオパークネットワーク（JGN）は次のように解説しています。

ジオ（地球）に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズムを楽しむ場所がジオパークです。山や川をよく見て、その成り立ちとしくみに気付き、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。足元の地面の下にある岩石から宇宙まで、数十億年の過去から未来まで、山と川と海と大気とそこに住む生物について考える、つまり地球を丸ごと考える場所、それがジオパークです。

今、私たちが生活している湯沢市の大地は、昨日今日出来上がったものではありません。それこそ、気の遠くなるような長い歳月をかけて出来上がり、今、私たちの足元に存在しています。また、今、あなたが踏みしめている大地は、よその大地と同じだとも思いますが、それぞれ成り立ちが違います。「あなた」という人が、この世界に一人しかいないのと同じように、「湯沢市」も世界に一つだけしかありません。ゆざわジオパークは、そんな世界に一つだけの場所が、どのようにして出来上がり、私たちの毎日の生活や今までの歴史、文化にどのような影響を与えているのか、五感（見る・聞く・触る・味わう・嗅ぐ）をフルに使って楽しく学ぶ場所です。

ジオパークについては、「ジオパークは、地域資源だ」と言う人もいますし、「ジオパークは、郷土学習だ」と言う人もいます。ある人は「ジオパークは、人の生活を支えているジオ(大地)が見えるところ」と言います。このガイドブックを読んで、ぜひみなさん独自の「ジオパークは〇〇だ」というものを見つけてください。

ジオパークで大事なことは、ジオパークの言葉の意味を知ることではなく、ジオパークの活動に関わることです。ゆざわジオパークに住んでいるみなさんが、ジオパークの活動に関われば、私たちのふるさと「ゆざわ」の大地とその大地の上で育まれた人々の暮らしや伝統、文化などの良いところを再発見することができ、今まで以上に、ゆざわのことが好きになります。

ゆざわのことが好きになれば、よその人に自慢したくなります。ジオパークは、日本だけの取り組みではなく、世界で行われている取り組みですので、世界中の人に、ゆざわの持つ資源のすばらしさを発信する語り部になることができます。そうすれば、毎日がドキドキ、ワクワクの連続です。ゆざわに住んでいる人が、ゆざわのことが大好きで、毎日楽しそうに活動していれば、外の人が見ても「ゆざわは、何か、おもしろそうだ。行ってみよう!」と思うはずです。このガイドブックは、ゆざわジオパークの特徴をテーマごとに解説しています。このガイドブックをきっかけに、ぜひジオパーク活動に参加して、みんなで、ゆざわジオパークを育てていきましょう。



ジオパークの仕組みや世界遺産との違いなどについては、ホームページをご覧ください。

日本ジオパークネットワーク <http://www.geopark.jp/>

日本ジオパーク委員会 <https://www.gsj.jp/jgc/>

ゆざわジオパーク公式ウェブ <http://www.yuzawageopark.com/>

ゆざわジオパークSTORY

ジオパークとストーリー

日本国内のジオパークで組織している日本ジオパークネットワークでは、各ジオパーク特有の大地のストーリーを重視しています。例えば、参加したツアーのガイドの説明にストーリーがあれば、聞いていて面白いのはもちろんですが、説明に対する理解が早いからです。ジオパークは地球科学が基礎となった取り組みのため、内容も難しく、ストーリーのある説明が重要になっています。

ゆざわジオパークのキャッチフレーズ

いにしへの 火山の恵み あつき雪
いかして築く 歴史と暮らし

湯沢市には、小野小町の伝承が色濃く残っていることから、ゆざわジオパークのキャッチフレーズを小町が得意とした和歌で表現しました。

ゆざわジオパークのストーリー

私たちが住んでいる日本列島は、4枚のプレート（固くて厚い板状の岩石）の上に乗っています。この4枚のプレートは、お互いに押し合っているため、日本列島では大地の動きを体験することができます。

ゆざわジオパークは東北地方のちょうど真ん中にあり、地球の動きで出来た日本海と奥羽山脈、対馬海流の影響で、世界でも例を見ない豪雪地帯になっています。

なぜ、こんな豪雪地帯の「ゆざわ」で、長い間人々が生活を続けてきたのでしょうか？

そのヒントは、「見えない火山」にありました。

ゆざわでは、過去から現在まで続く火山活動が生み出した「鉱物」や「水」、「地熱」といった大地からのたくさんの恵みをいかして、この地で産業をおこし、長い間豊かに暮らしてきました。

これからも、絶えず動いている大地と向き合いながら、時には大地の動きで引き起こされる試練を乗り越えて、未来に向かって豊かな大地の恵みとともに歩み続けます。

さあ、みんなでゆざわの見えない火山を探しに出かけましょう。

【写真】ゆざわジオパークのキャッチフレーズに関する見所

火山のめぐみ・あつき雪



院内石



川原毛大湯滝



くぞわたの清水



泥湯温泉



冬の様子



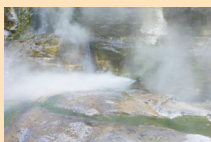
小安峡



扇状地(三関地区)



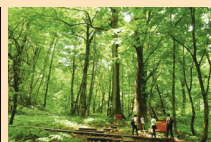
昆虫化石(高松地区)



小安峡大噴湯



鉱石(院内銀山)



女滝沢森林浴歩道



苔沼

歴史と暮らし



東島海神社



郡会議事堂



地熱利用温室栽培



上の岱地熱発電所



一里塚



院内銀山(御幸坑)



特産品(さくらんぼ)



特産品(日本酒)



稲庭城



カシマサマ



小町まつり



犬っこまつり

ゆざわで見られる大地の歴史



全日本共通で起こったこと

北日本共通で起こったこと

9700万年前

3300万年前

2300万年前

1500万年前

大陸の地下で花崗岩が出来た時代
ゆざわの基盤となる花崗岩ができた

大陸の端で噴火が起こった時代
マグマや火山灰などが、大地を厚く覆った

大陸の端に割れ目が出来た時代
さらに活発な火山活動で、
アジア大陸の東の端が割れ始めた

日本海が出来始めた時代
日本列島が大陸から分離



花崗岩



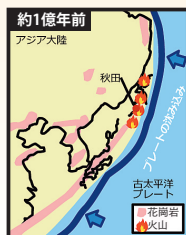
御嶽山



関口石採石場跡



貝の化石



奥羽山脈付近共通で起こったこと

ゆざわで起こったこと

700万年前

日本列島が海中にあった時代
海底に、泥などが堆積



院内石採石場跡

500万年前

奥羽山脈が盛り上がり始めた時代
激しく大規模な火山活動で、巨大なカルデラができた



植物の化石

300万年前

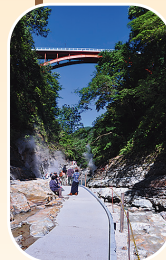
カルデラ湖に化石が出来た時代
カルデラ湖の底に、火山灰や土砂が堆積



昆虫の化石

30万年前

陸上で噴火が起こった時代
ゆざわにある多くの火山が生まれた



小安峡

1万年前

水の力で地形が変わった時代
侵食や堆積で、V字谷や扇状地などができた



高松岳

